

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合				
信託期間	2029年10月17日まで（2023年2月17日設定）				
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることができることが期待される企業を指します。</p> <p>設定日から2024年9月までは、原則として、株式部分（マザーファンド受益証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。なお、株式部分以外は、原則として、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資します。</p> <p>2024年10月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>				
主要運用対象	<table border="1"> <tr> <td>ベビー ファンド</td> <td>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。</td> </tr> <tr> <td>マザー ファンド</td> <td>世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	ベビー ファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。	マザー ファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
ベビー ファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。				
マザー ファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。				
主な組入制限	<table border="1"> <tr> <td>ベビー ファンド</td> <td>株式への実質投資割合に制限を設けません。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。</td> </tr> <tr> <td>マザー ファンド</td> <td>株式への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</td> </tr> </table>	ベビー ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。	マザー ファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
ベビー ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。				
マザー ファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。				
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>				

運用報告書（全体版）

ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）
2023-02（限定追加型）

第2期（決算日：2025年2月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2023-02（限定追加型）」は、去る2月25日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用 フリーダイヤル	0120-151034 (受付時間：営業日の9:00~17:00、 土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

ファンドマネージャーのコメント

◆当期間の運用で主眼を置いたポイント

- 当期間の運用は、株式市場が短期的に下落した局面では、市場全体が大きく下落したのに対し、わずかな下落にとどまっており、運用チームが目指している下値抵抗力がしっかりと発揮されました。ただ、期間全体を通して見ると、A I 関連の成長期待で一部の企業（マグニフィセント7と呼ばれる7つの企業）が引き続き市場全体の上昇相場を牽引しており、当ファンドでは「マグニフィセント7」のうちMICROSOFT CORP（アメリカ）とALPHABET INC-CL A（アメリカ）のみを保有していたため、他の5銘柄を保有していないことが主な要因となって、先進国株式市場に対してアンダーパフォームとなりました。
- 主な投資行動としては、9銘柄の新規組入と8銘柄の全売却を行いました。新規組入は、ソフトウェア・メーカーであるORACLE CORP（アメリカ）などを新規に組み入れました。一方で、家庭用品・医薬品メーカーであるRECKITT BENCKISER GROUP PLC（イギリス）などを全売却しました。

◆今後の見通し

- 現在の株式市場は割高で、米国の政策は不透明感が高い状況にあると考えています。また、市

場の生成A Iへの期待も過度になっていると懸念しています。

このような環境下では、妥当なバリュエーションの安定した高クオリティ企業は、生成A Iの興奮が減速・低下する際の最良の保険と言える可能性が高いと考えます。価格決定力があれば、コスト上昇を顧客に転嫁でき、また、継続的な売上があれば、景気減速局面でも売上を維持できます。生成A Iへの過度な期待が剥落した場合でも、高クオリティ企業への影響は限定的と考えています。

◆運用方針

- 引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム

運用責任者
ウィリアム・ロック

ファンド・マネジャー
ブルーノ・ポールソン

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額					株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	税分	込配	み金	期騰	中落率					
(設定日) 2023年2月17日	円 10,000	円 —	% —	百万円 6,467						
1期(2024年2月26日)	11,111	0	11.1	63.5	—	—	—	—	—	9,510
2期(2025年2月25日)	11,874	0	6.9	97.4	—	—	—	—	—	8,101

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 組 入 式 率	株 先 物 比 率	債 組 入 式 率	債 券 入 比 率	債 先 物 比 率	債 券 率
		騰 落 率						
(期 首) 2024年2月26日	円 11,111	% —	% 63.5	% —	% —	% —	% —	% —
2月末	11,049	△ 0.6	66.8	—	—	—	—	—
3月末	11,067	△ 0.4	72.5	—	—	—	—	—
4月末	10,979	△ 1.2	76.6	—	—	—	—	—
5月末	10,978	△ 1.2	81.0	—	—	—	—	—
6月末	11,482	3.3	86.0	—	—	—	—	—
7月末	11,252	1.3	89.6	—	—	—	—	—
8月末	11,067	△ 0.4	95.1	—	—	—	—	—
9月末	11,164	0.5	97.6	—	—	—	—	—
10月末	11,786	6.1	97.5	—	—	—	—	—
11月末	11,689	5.2	97.5	—	—	—	—	—
12月末	12,049	8.4	97.7	—	—	—	—	—
2025年1月末	12,279	10.5	97.0	—	—	—	—	—
(期 末) 2025年2月25日	11,874	6.9	97.4	—	—	—	—	—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

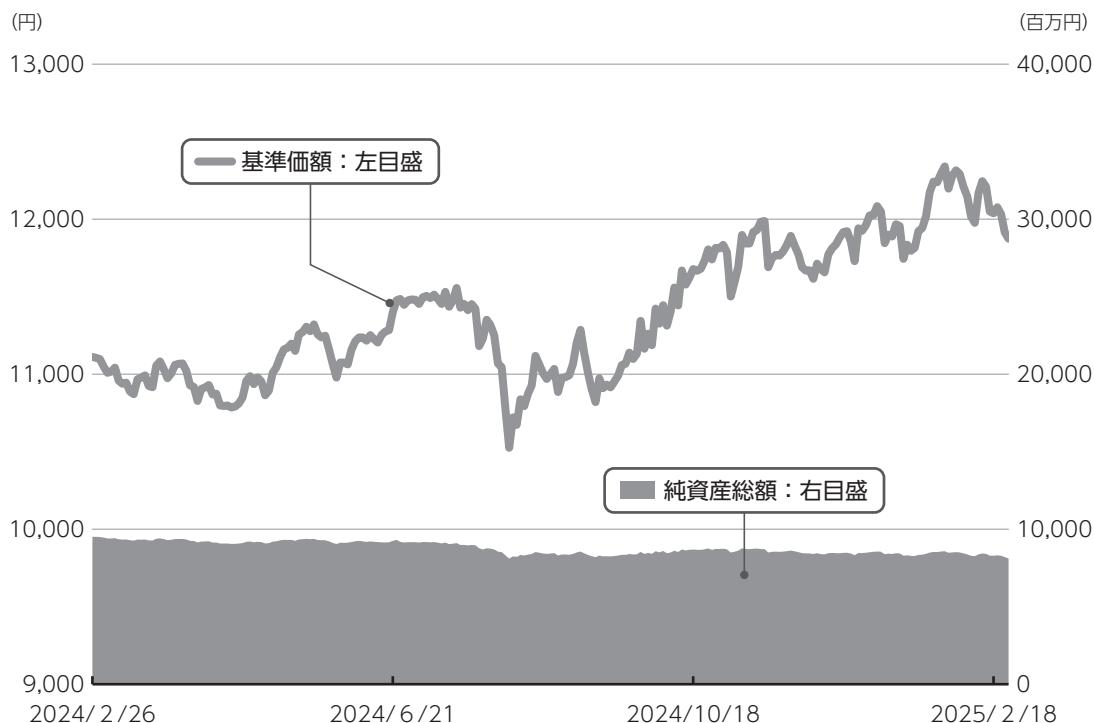
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2024年2月27日～2025年2月25日

〉当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	11,111円
第2期末	11,874円
既払分配金	0円
騰落率	6.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.9%の上昇となりました。

〉基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国を中心とした利下げ観測の高まりなどから先進国株式市場が上昇したことや、SAP SE（ドイツ）やVISA INC-CLASS A SHARES（アメリカ）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第2期：2024年2月27日～2025年2月25日

〉投資環境について

▶ 株式市況

先進国株式市場は上昇しました。

米国を中心とした利下げ観測の高まりや、トランプ政権が掲げる経済政策が米景気を押し上げるとの期待などがプラス材料となり上昇しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で概ね横ばい、ユーロ、英ポンドは対円で下落しました。

〉当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ビルドアップ型 MS グローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし） 2023-02（限定追加型）

株式部分については、設定日から2024年9月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

当期間は、期間の初めから2024年9月までは、定期的に一定金額をモルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券に投資し、組入れを増やしました。

その後は、モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。

実質組入外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

ORACLE CORP (アメリカ)：同社事業の継続性を評価したことなどに加え、株価の割安性などを勘案して新規購入しました。

主な全売却銘柄

RECKITT BENCKISER GROUP PLC (イギリス)：業績見通しの不確定性などを勘案して全売却しました。

〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指標との対比は表記できません。

〉分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかつた利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期 2024年2月27日～2025年2月25日
当期分配金（対基準価額比率）	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,878

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

▶ ビルドアップ型 MS グローバル・ プレミアム株式（為替ヘッジなし） 2023-02（限定追加型）

モルガン・スタンレー グローバル・プ
レミアム株式オープン マザーファンド
受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行
っていく方針です。

実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・ プレミアム株式オープン マザーファンド

引き続き、高いブランド力や有力な特許、
強固な販売網などの競争優位の無形資産
を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確定性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2024年2月27日～2025年2月25日

〉1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	147	1.287	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(84)	(0.741)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(58)	(0.507)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.039)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	1	0.007	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(1)	(0.007)	
(c)有価証券取引税	3	0.023	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(3)	(0.023)	
(d)その他費用	2	0.017	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	153	1.334	

期中の平均基準価額は、11,398円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

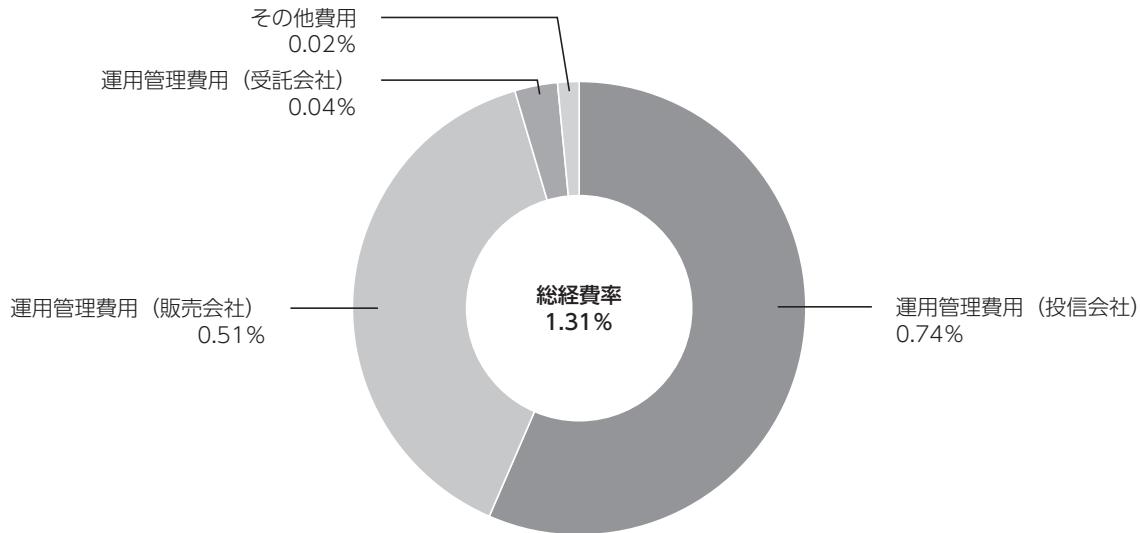
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.31%です。**



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月27日～2025年2月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 432,244	千円 3,083,997	千口 253,019	千円 1,869,803

○株式売買比率

(2024年2月27日～2025年2月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	372,821,565千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	511,067,674千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月27日～2025年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 値 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 867,702	千口 1,046,928	千円 8,059,779

○投資信託財産の構成

(2025年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千円 8,059,779	% 97.7
コール・ローン等、その他	185,847	2.3
投資信託財産総額	8,245,626	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（542,212,046千円）の投資信託財産総額（548,265,272千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=150.23円	1 ユーロ=157.19円	1 イギリスポンド=189.59円	1 スイスフラン=167.37円
1 スウェーデンクローネ=14.09円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年2月25日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	8,245,626,471
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(評価)	95,485,395
未収入金	8,059,779,365
未収利息	90,360,482
(B) 負債	1,229
未払解約金	144,060,529
未払信託報酬	74,297,014
その他未払費用	69,619,160
(C) 純資産総額(A-B)	144,355
元本	8,101,565,942
次期繰越損益金	6,822,975,270
(D) 受益権総口数	1,278,590,672
1万口当たり基準価額(C/D)	6,822,975,270円
	11,874円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,559,750,373円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 1,736,775,103円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,1874円です。

②分配金の計算過程

項目	目	2024年2月27日～ 2025年2月25日
費用控除後の配当等収益額		81,030,058円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額		439,563,576円
収益調整金額		67,543円
分配準備積立金額		761,170,326円
当ファンドの分配対象収益額		1,281,831,503円
1万口当たり収益分配対象額		1,878円
1万口当たり分配金額		－円
収益分配金額		－円

③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

- 20億円以下の部分に対して 年1万分の80
 20億円超40億円以下の部分に対して 年1万分の75
 40億円超80億円以下の部分に対して 年1万分の70
 80億円超の部分に対して 年1万分の65

○損益の状況（2024年2月27日～2025年2月25日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円 704,717
受取利息	713,098
支払利息	△ 8,381
(B) 有価証券売買損益	630,794,222
売買益	700,545,780
売買損	△ 69,751,558
(C) 信託報酬等	△ 110,905,305
(D) 当期損益金(A+B+C)	520,593,634
(E) 前期繰越損益金	761,170,326
(F) 追加信託差損益金	△ 3,173,288
(配当等相当額)	(67,543)
(売買損益相当額)	(△ 3,240,831)
(G) 計(D+E+F)	1,278,590,672
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,278,590,672
追加信託差損益金	△ 3,173,288
(配当等相当額)	(67,543)
(売買損益相当額)	(△ 3,240,831)
分配準備積立金	1,281,763,960

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三井UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[お 知 ら せ]

東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。原則として、午後3時30分までに販売会社が受けたものを当日の申込みとします。なお、販売会社によっては異なる場合があります。

(2024年11月5日)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第26期》決算日2025年2月25日

[計算期間：2024年8月24日～2025年2月25日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
2月25日に第26期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	・信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・運用指図委託契約に基づき、モルган・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	米ドル為替	(参考指數) MSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)			株式組入比率	株式先物比率	純資産額
			期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
22期(2023年2月24日)	円 52,027	% △ 4.1	円 134.19	% △2.3	26,282	0.8	98.0	% 328,138
23期(2023年8月23日)	60,910	17.1	145.72	8.6	28,203	7.3	97.5	402,858
24期(2024年2月26日)	70,968	16.5	150.36	3.2	32,533	15.4	98.1	490,493
25期(2024年8月23日)	70,888	△ 0.1	146.27	△2.7	35,505	9.1	98.6	506,898
26期(2025年2月25日)	76,985	8.6	150.23	2.7	37,883	6.7	97.9	548,147

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)（出所：MSCI）の基準日前営業日の指數を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指數化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものであります、その確実性及び完結性をMSCIは如何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指數は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) M S C I ワ ー ル ド ・ イ ン デ ッ ク ス (税 引 き 後 配 当 引み 米 ド ル 建 て)	株 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2024年8月23日	円 70,888	% —	円 146.27	% —	35,505	% —
8月末	71,111	0.3	144.80	△1.0	35,752	0.7
9月末	71,838	1.3	142.73	△2.4	36,737	3.5
10月末	75,968	7.2	153.64	5.0	36,555	3.0
11月末	75,446	6.4	150.74	3.1	37,416	5.4
12月末	77,896	9.9	158.18	8.1	37,110	4.5
2025年1月末	79,522	12.2	154.43	5.6	38,103	7.3
(期 末) 2025年2月25日	76,985	8.6	150.23	2.7	37,883	6.7
						97.9
						—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.6%の上昇となりました。

基準価額等の推移

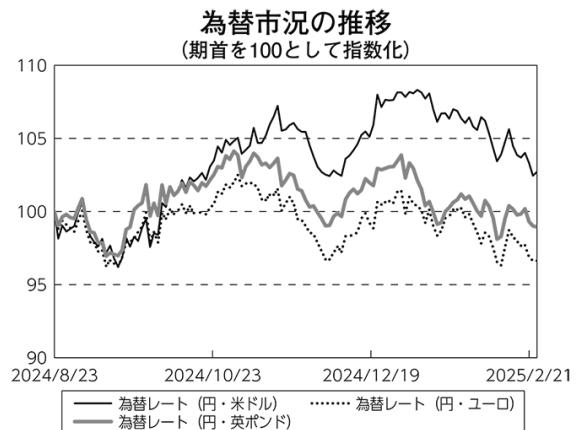


●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米国を中心とした利下げ観測の高まりなどから先進国株式市場が上昇したことや、SAP SE（ドイツ）やVISA INC-CLASS A SHARES（アメリカ）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について



◎株式市況

- 先進国株式市場は上昇しました。
- 米国を中心とした利下げ観測の高まりや、トランプ政権が掲げる経済政策が米景気を押し上げるとの期待などがプラス材料となり上昇しました。

◎為替市況

- 米ドルは対円で上昇し、ユーロ、英ポンドは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- 高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- 銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ORACLE CORP (アメリカ)：同社事業の継続性を評価したことなどに加え、株価の割安性などを勘案して新規購入しました。

◎主な全売却銘柄

- RECKITT BENCKISER GROUP PLC (イギリス)：業績見通しの不安定性などを勘案して全売却しました。

○今後の運用方針

- 引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するには合理的であると運用チームでは考えています。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年8月24日～2025年2月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 3 (3)	% 0.004 (0.004)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	10 (10)	0.013 (0.013)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用)	5 (5)	0.007 (0.007)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合計	18	0.024	
期中の平均基準価額は、75,430円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2024年8月24日～2025年2月25日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	17,295	384,345	14,001	341,508
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	217	4,930	2,028	48,393
	フランス	3,885	134,469	1,986	22,769
	オランダ	219	296	20,069	31,262
	イギリス	119	537	511	2,183
	イギリス	4,327	千イギリスポンド 4,864	29,403	千イギリスポンド 91,850

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2024年8月24日～2025年2月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	166,802,012千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	530,086,258千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.31

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月24日～2025年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)					
ABBOTT LABORATORIES	百株 9,774	百株 8,296	千アメリカドル 111,963	千円 16,820,285	ヘルスケア機器・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,546	3,287	102,648	15,420,844	商業・専門サービス
ACCENTURE PLC-CL A	4,807	4,020	146,312	21,980,481	ソフトウェア・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	4,727	4,693	108,107	16,240,922	ヘルスケア機器・サービス
AUTOZONE INC	169	160	54,433	8,177,470	一般消費財・サービス流通・小売
COCA-COLA CO/THE	14,352	16,466	116,236	17,462,171	食品・飲料・タバコ
CME GROUP INC	3,394	4,181	103,603	15,564,405	金融サービス
EQUIFAX INC	2,444	1,603	38,466	5,778,824	商業・専門サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	742	737	34,030	5,112,380	金融サービス
S&P GLOBAL INC	779	773	41,257	6,198,173	金融サービス
PROCTER & GAMBLE CO/THE	4,646	6,862	117,037	17,582,519	家庭用品・パーソナル用品
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,575	1,867	107,668	16,175,000	ソフトウェア・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,772	2,013	107,857	16,203,451	医薬・バイオテクノロジー・ライフケイエンス
UNITEDHEALTH GROUP INC	2,126	2,227	102,823	15,447,232	ヘルスケア機器・サービス
MICROSOFT CORP	6,413	6,367	257,248	38,646,459	ソフトウェア・サービス
ORACLE CORP	—	3,282	55,784	8,380,573	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	4,232	5,184	92,924	13,960,067	メディア・娯楽
HOLISTIC INC	6,716	6,668	43,352	6,512,836	ヘルスケア機器・サービス
BOOKING HOLDINGS INC	170	189	95,462	14,341,399	消費者サービス
CONSTELLATION BRANDS INC-A	3,072	1,391	24,903	3,741,198	食品・飲料・タバコ
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	7,164	6,682	112,553	16,908,872	金融サービス
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC	2,367	2,351	55,585	8,350,666	商業・専門サービス
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	5,773	2,916	45,574	6,846,661	食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	7,254	6,655	232,833	34,978,588	金融サービス
ZOETIS INC	1,747	1,734	28,675	4,307,945	医薬・バイオテクノロジー・ライフケイエンス
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	965	2,003	34,583	5,195,445	金融サービス
ARTHUR J GALLAGHER & CO	3,375	3,424	112,478	16,897,658	保険
CDW CORP/DE	2,618	2,599	48,536	7,291,625	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
STERIS PLC	1,922	2,154	48,193	7,240,097	ヘルスケア機器・サービス
AON PLC-CLASS A	3,665	3,885	152,378	22,891,866	保険
OTIS WORLDWIDE CORP	6,056	6,984	68,926	10,354,828	資本財
小計	株数・金額	118,375	121,669	2,802,442	421,010,955
銘柄	数 <比率>	30	31	—	<76.8%>
(ヨーロ…ドイツ)					
SAP SE	10,963	9,152	千ユーロ 251,056	39,463,507	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	10,963	9,152	251,056	39,463,507
銘柄	数 <比率>	1	1	—	<7.2%>
(ヨーロ…フランス)					
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON	724	1,097	75,974	11,942,445	耐久消費財・アパレル
L'OREAL	1,354	4,051	140,885	22,145,767	家庭用品・パーソナル用品
PERNOD RICARD SA	4,548	3,377	33,500	5,265,917	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額	6,627	8,526	250,360	39,354,130
銘柄	数 <比率>	3	3	—	<7.2%>
(ヨーロ…オランダ)					
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	8,874	—	—	—	食品・飲料・タバコ

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等	
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…オランダ) UNIVERSAL MUSIC GROUP NV	百株 10,976	百株 —	千ユーロ —	千円 —	—	メディア・娯楽	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	19,850	—	—	—		
(ユーロ…イギリス) RELX PLC	5,404	5,013	23,572	3,705,359	商業・専門サービス		
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	5,404	5,013	23,572	3,705,359		
ユーロ計	株数・金額 銘柄数 <比率>	42,845	22,692	524,988	82,522,997		
(イギリス) RELX PLC RECKITT BENCKISER GROUP PLC EXPERIAN PLC HALEON PLC	20,737 15,442 12,617 150,249	19,140 — 11,183 143,647	千イギリスポンド 74,609 — 42,453 57,013	14,145,298 — 8,048,797 10,809,201	商業・専門サービス 家庭用品・パーソナル用品 商業・専門サービス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	199,047	173,971	174,077	33,003,297		
合計	株数・金額 銘柄数 <比率>	360,268	318,332	—	536,537,251		
		41	39	—	<97.9%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年2月25日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 536,537,251	% 97.9
コール・ローン等、その他	11,728,021	2.1
投資信託財産総額	548,265,272	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（542,212,046千円）の投資信託財産総額（548,265,272千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=150.23円	1ユーロ=157.19円	1イギリスポンド=189.59円	1スイスフラン=167.37円
1スウェーデンクローネ=14.09円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コード・ローン等	548,265,272,842
株式(評価額)	11,530,262,743
未収配当金	536,537,251,091
未収利息	197,681,064
77,944	
(B) 負債	117,958,350
未払解約金	117,958,350
(C) 純資産総額(A-B)	548,147,314,492
元本	71,201,466,571
次期繰越損益金	476,945,847,921
(D) 受益権総口数	71,201,466,571口
1万口当たり基準価額(C/D)	76,985円

<注記事項>

- ①期首元本額 71,506,825,053円
 期中追加設定元本額 5,085,503,114円
 期中一部解約元本額 5,390,861,596円
 また、1口当たり純資産額は、期末7,6985円です。

○損益の状況 (2024年8月24日～2025年2月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	3,046,766,012
受取利息	2,932,151,225
その他収益金	114,578,307
	36,480
(B) 有価証券売買損益	41,090,836,789
売買益	64,861,957,621
売買損	△ 23,771,120,832
(C) 保管費用等	△ 36,204,946
(D) 当期損益金(A+B+C)	44,101,397,855
(E) 前期繰越損益金	435,391,348,500
(F) 追加信託差損益金	32,944,010,713
(G) 解約差損益金	△ 35,490,909,147
(H) 計(D+E+F+G)	476,945,847,921
次期繰越損益金(H)	476,945,847,921

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オーブン (為替ヘッジなし)	47,573,713,966円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オーブン (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	14,057,631,159円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オーブン (為替ヘッジあり)	6,819,866,338円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式 (為替ヘッジなし) 2020-11 (限定追加型)	1,100,471,036円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式 (為替ヘッジなし) 2023-02 (限定追加型)	1,046,928,540円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オーブン (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	548,503,559円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オーブン<隔月決算型> (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	49,861,603円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オーブン<隔月決算型> (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	4,490,370円
合計	71,201,466,571円